

## 任務・使命

○人口減少に対応しつつ、国土を適切に管理するとともに、これを好機ととらえた自然環境、生活環境等の改善を進めることにより、美しい国土を守り次世代に継承するための以下の事項について調査。

- ・人口減少に対応した国土の利用・管理のあり方
- ・国民の参加による国土管理 等

## 委員名簿

浅見 泰司	東京大学大学院工学系研究科教授
飯島 淳子	東北大学公共政策大学院教授
一ノ瀬 友博	慶應義塾大学環境情報学部教授
大原 美保	土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター主任研究員
瀬田 史彦	東京大学大学院工学系研究科准教授
土屋 俊幸	東京農工大学大学院農学研究院教授
◎中出 文平	長岡技術科学大学副学長
中村 太士	北海道大学大学院農学研究院教授
広田 純一	岩手大学農学部教授
山野目 章夫	早稲田大学大学院法務研究科教授

## 開催経緯

平成28年 9月15日	第1回	・検討趣旨及び主な論点について
平成28年12月14日	第2回	・第1回の議論を踏まえた論点の整理 ・国土利用・土地利用に関する制度について ・地方自治体事例紹介(静岡県富士宮市、長野県安曇野市)
平成29年 2月27日	第3回	・とりまとめの方向性の議論(これからの国土利用・管理について) ・地方自治体事例紹介(長野県飯田市、福島県三春町)
平成29年 5月12日	第4回	・とりまとめ案(これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画(市町村計画))について
平成29年 9月27日	第5回	・複合的な効果をもたらす施策、国土の選択的な利用を推進していく上での課題 ・国土利用計画(市町村計画)を定める上での留意点
平成29年 12月7日	第6回	・複合的な効果をもたらす施策、国土の選択的な利用に関する事例紹介(宮城県綾町、新潟県新発田市、宮城県大崎市)
平成30年 2月16日	第7回	・複合的な効果をもたらす施策、国土の選択的な利用に関する事例紹介(山形県鶴岡市、兵庫県丹波市)
平成30年 4月17日	第8回	・とりまとめ案(人口減少下の持続可能な国土の利用・管理～地域自ら土地の使い方を改めて考え、選択する一取組事例に学ぶ課題と解決の方向性～)について